



● 合同会社ファブリッジ (東京・目黒区)

海外進出を望む日本の農業生産者と
台湾バイヤーのマッチングに実績

台湾進出で障壁となるのは情報不足だ。企業マッチングで有効なのが、現地に広いネットワークをもつアドバイザの存在。今年四月設立のファブリッジ (東京・目黒区) もその一つ。御堂裕実子社長は〇四年、台湾を旅した

徳島県農林水産物輸出促進商談会で台湾バイヤーの通訳兼コーディネーターを務める御堂氏



「台湾ほど親日の国と人はない」と御堂氏

際、その熱狂的なまでの親日ぶりと逞しい経済力に感動、二年后には広告代理店を退職して渡台、中国語を修得しながら現地事業コンサルティング会

業生産者と台湾バイヤーをマッチングさせたい。零細でも危機感を持ち、海外に活路を見出そうとする企業をサポート・コーディネイトしていききたい (御堂氏)

社・則和企業管理顧問有限公司 (台北) 中山区、島中則和董事長。以下則和に勤務。同社の東京事務所の開設時に、業務提携のファブリッジを設立した。社名には、日台間に「fabulous (ワクワクする) bridge (橋) を架けるとの思いを込めた。

今後は、現地リサーチ会社と組んだオンライン・オフラインの高密度なリサーチデータを提供し、進出後までもトータルなサポート・コーディネイト事業を展開する。

業務は技術系LED (T系)、印刷業者など多岐にわたるが、農業関係が五割を占める。例えば日本農業法人協会の会員企業の台湾進出プロジェクト。同協会から委託を受け、台湾の有力バイヤー鼎三国際、中琉物産二社を選定し、日本に招聘。御堂社長は、宮城県、徳島県、三重県の生産現場視察にコーディネーター兼通訳として同行し、日本農産を台湾バイヤーに紹介し、マッチングを成功させた。

■ 小規模生産者もサポート

「当社は台湾バイヤーとのつながりが深く、日本の生産者とのトータルなサポート・コーディネイトを行っていきます。ポータレス時代には小規模でも良

質の製品を情報発信することでビジネスチャンスが生まれる。今後は台湾バイヤーの視察を希望する農業生産者は増えると思うが、プロモーションでも当社が力になっていきたい (御堂氏)

日本の食は健康・安心・安全面で信頼が高く、特に台湾の富裕層は日本ブランドの農産品を好み、日系ブランドで購買する。特に日本ブランドの米の人気は高い。嗜好性が日本人とダブリ、米以外にも野菜、果物、オリジナル性と希少性のある食材、また日本の健康ブームに追随傾向があるので、寒天、健康茶、酢なども人気だという。「則和東京代表として、大手企業のフォローと並行し、当社は農業に注力します。海外進出を希望する小規模な農